



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会（第6回） 議事概要について

1. 検討会の概要

日時：平成28年6月13日（月） 13:00～15:00

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：平田座長代理、入倉委員、岡村委員、佐竹委員、橋本委員、平川委員、古村委員、
翠川委員、谷岡委員、松澤委員
産業技術総合研究所 七山上級主任研究員

2. 議事概要

産業技術総合研究所 七山上級主任研究員から、根室海峡沿岸域の広域地殻変動に関する話題提供をいただいた。その後、事務局から検討状況の説明を行い、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について審議を行った。概要は、次のとおり。

- 北海道野付半島では、周辺地域の通常の沈降傾向では説明できない地殻の上昇が確認されている。この原因が巨大地震によるものであるか否かは現時点で不明である。
- 地殻変動による長期的な隆起沈降について、全体的には隆起傾向にあるが、最近5～6千年で見ると変動量は小さくなっている。
- 津波高の計算においてポストサイスミックな地殻変動は復元が困難である。
- 太平洋プレートの相対運動ベクトルについて、最新のグローバルなプレートモデルを用いて検証を行うべきではないか。
- 想定される津波高のより詳細な検討にあたっては、津波発生当時の海岸線などを整理し、津波堆積物のデータをうまく説明できる津波断層モデルの構築を進める。
- 過去地震による浸水域を再現する際には、現在の地形から地震発生当時にはなかった浜堤を取り除くなど、地震発生当時の地形を考慮して検討を行う。

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

調査・企画担当企画官 森本 輝

同参事官補佐 池田 雅也

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-6820